

釧路南ロータリークラブ会報

第13回 例会報告 2021.10.29 通算1863回

・点 鐘 菊地会長エレクト



会長代理、幹事、副幹事

・会長挨拶 菊地会長エレクト 代読



皆さま こんにちは。本日は私事で、欠席することになり菊地エレクト、澤山幹事をはじめ、例会準備等にご面倒をおかけすることになりましたこと、お詫び申し上げます。

朝夕の寒暖差や日中の気温変化などで体調管理が難しい季節になってまいりました。この文章を代読いただいている頃、私は太平洋上空にいると思います。成田空港へ到着してからリムジンバス・東京駅から東海道山陽新幹線・三島駅から伊豆箱根鉄道と乗り継ぎを繰り返して 18 時迄に静岡県伊豆の国市に入ります。さて、今月末日は衆院選の投票日となります。今週は選挙運動も終盤戦に突入し、各候補の熱い訴えに街中が賑やかでした。私も 31 日に戻ってまいりますので忘れずに投票所へ向かおうと思います。この後のプログラムは、国際奉仕委員会の担当ですが正副委員長の不在により幹事が代行いたします。大変に緊張していると思われまますので、皆さまの温かい眼差しで応援を宜しくお願い申し上げます。

・ロータリーソング

「手に手つないで」



ソングリーダー 長江 孝文会員

・結婚祝

伊東 良孝会員 S53. 11. 3 (43年目)

・幹事報告

- * 各クラブより 11 月のプログラムが届いております。
- * 厚岸ロータリークラブより会報と 11 月プログラムが届いております。
- * 釧路北ローターアクトクラブより 11 月 16 日(火)の例会プログラムのご案内が、株について学ぶ例会となっており、クラブあてに出欠席連絡所が届いております。それぞれ回覧にてご覧ください。
- * ロータリーの友 11 月号とガバナー月信が届いております、忘れずにお持ち帰りください。
- * 例会終了後、臨時理事会がございますので理事者の皆様、宜しくお願い致します。

・本日のプログラム

「経済と地域社会の発展月間に因んで」

担当 国際奉仕委員会

◆代理 澤山幹事



皆様こんにちは、本日のプログラム「経済と地域社会の発展月間」となっておりますが、担当委員会の会員の方が所要の為、欠席されておりますので私の方から発表させて頂きたいと思っております。

ホームページの資料から「経済と地域社会の発展」について掻い摘んでお話しさせて頂きたいと思っております。失業、不完全雇用、ビジネスの機会・欠如は

貧困を引き起こす深刻な問題です。

人々が健康で安全な生活を送るための手段の一つとなるのが「働くこと」であり、貧困を減らすには雇用機会の創出と収入源の確保が必要とされます。特に、女性、若者、貧困層の人々のエンパワメント（社会における地位向上）は、持続可能な経済的・社会的発展のカギとなる要素です。「経済と地域社会の発展」は、ロータリーの6つの重点分野の一つとなっております。経済と地域社会の発展が重視される理由としては、一つには、一人当たりの農業収入が1%増えるごとに、極度の貧困者数が0.6%～1.8%減る。

二つには、ある研究によると、マイクロクレジット（小口融資）を利用できれば、収入や消費の変動に左右されにくくなる。三つには、ある研修によると、ナイジェリアでは、人材投資（教育や研修など）を1%増やすことで、貧困を66%以上減らすことができる。四つには、単純労働で働く女性は、専門性のある仕事に就くためのスキルを備えていない。

シンガポール、台湾、マレーシアなどの国に見られるように、機能訓練の充実は、その国の付加価値生産を高めるための必須条件である。以上が経済と地域社会の発展が重視される理由として掲げられております。

又、世界銀行によると、1日に1ドル25セント未満で生活する貧困者数は、1990年に192万人でしたが、2011年には100万人にまで減少しています。貧困を減らす取り組みでは、着実な成果が挙げられており、2015年にはミレニアム開発目標の一部が達成されています。しかし、持続可能な開発目標では、現在世界には切迫したニーズがあると指摘されています。一つには、2013年の失業人口は約2億200万人であり、そのうち7450万人は15歳～24歳の若者です。二つには、都市部以外に住む貧困者の70%の主な収入源と仕事は農業である。三つには、雇用における男女格差は根強く、2012年の就業率における男女差は24.8ポイントであると実証されております。

世界各地のロータリアンの活動を箇条書きに簡単に紹介しますと、「アルバニア」のロータリークラブでは、養蜂のための巣箱 125 箱を地元の貧困家庭に提供し、養蜂技術と販売スキルの研修を実施した。

「ナイジェリア」のロータリークラブでは、配偶者を失った女性に小口融資を行い、ビジネスを成功させるための研修を実施した。「インド」のロータリークラブでは、家族を養わなければならない少女・女性を対象に、食品加工、服飾仕立て、コンピュータスキル、起業などの商業研修を実施した。「ウガンダ」のロータリークラブでは、地元住民を対象とした、資産管理、貯蓄、ローン、投資、保険、老後計画に関する研修を実施した。「フィリピン」のロータリークラブでは、米生産者 1,500 人への小口融資を実施し、ビジネスの効率を上げることを目的とした精米機の使用管理に関する研修を行った。

「エジプト」のロータリークラブでは、電気が使用できない遠隔地の家庭に、太陽光を利用した発電システムを提供した。「グアテマラ」のロータリークラブでは、グアテマラ僻地に住む女性の多くは銀行から融資を得るための融資がない為、女性たちが共同出資して小口融資プログラムを開始できるよう、地元 400 人の女性たちを対象に金融リテラシーの研修を実施した。「エクアドル」のロータリークラブでは、250 口以上のマイクロローンを融資しつつ、地元住民 270 人を対象に裁縫、パン焼き、配管、マイクロクレジット、経営管理、リーダーシップに関する研修を実施した。「西カメルーン」のロータリークラブでは、土壌浸食と土壌劣化のために収穫が大きく減少したため、土壌を肥沃にし、土壌浸食を食い止め、農作物を市場に出荷するのに必要なスキルを農家に指導、その結果、収穫量が増し、農業収入が増えた。以上世界各地での活動を簡単に紹介させて頂きました。ここで、それらの支援活動の様子をビデオ映像で見て頂きたいと思います。約 10 分少々です、ご覧ください。

最後になりますが、私もロータリアンとして奉仕活

動を通じ地域社会の発展に向け、自分なりに何が出来たのか、考えて参りたいと思います。以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。



今日の昼食 焼きそば?



点鐘 会長代理 菊地会長エレクト



・次回のプログラム

11月6日(土)

「観楓会」夜間移動例会

会場 丹頂の里 赤いベレー 18:30~

担当：親睦活動委員会

・点 鐘 菊地会長エレクト

今週の会報担当：木内治彦会員